

ホームページご案内

白門43会ホームページを御覧ください

「白門43会」で検索できます

詳細は第3面に掲載



発行所 中央大学学員会白門43会

編集・発行人 清水 正
電話 090-3699-9580
メール tds_shimizu@yahoo.co.jp

新しい時代へ会える日はきつと来る
コロナ禍と白門43会

新型コロナウイルス感染症の影響のため、活動がすべて中止となりもう2年間となる。20年1月、大相撲の豪風引退押尾川襲名興行に参加、翌月新春の集いを開催、「東天紅」で同窓生・林家つる子さんの高座を聞いたあとから社会の様子が徐々に変化、3月に予定していた歌舞伎鑑賞会を中止、4月から緊急事態となり、現在に至るまで新型コロナウイルスとの闘いが続いている。

役員会の再開
役員会は駿河台の「駿河台記念館」で毎月数回に開催されていたが、記念館が建て替えをすることになり、「ツ橋の「ツ橋ビル」に仮入居、以来しばらくの間ここで構えていたときに緊急事態、その後は発令有無の繰り返しで現在に至っている。もともと最近では「終身会費制度」の廃止、年会費の採用以後、とりたてて重要な議事はなく、時折開かれ

支決算・収支予算(案)
④ 監査報告⑤ 役員(案)
⑥ 年会費納入のお願いの6件。
発送、返信回収の作業は総務委員会が中心となり「ツ橋ビル」で行われた。

この結果、会則第9条第4項の定めによりすべての議案が承認されることになった。また「反対数」の1通について審査したところ役員(案)に記載したお名前前に誤記があることであつた。ついては原簿、会計名簿など各種の簿をチェック、役員会に出席の役員の間でも二度と間違いを犯さぬよう徹底した。

Table with 2 columns: 議決(返信)結果, 結果. Rows include 発送数 (179通), 返信数 (145通), 返信率 (81%), 賛成数 (144通), 反対数 (1通).

減少しているが、新しい会費制度の施行により、新たな年会費を納入した者を会員数としたものである。私たち1968年卒業の同期生は総数で8,500名であり、もつと会員の数が増えてもよいのではないかと感じるところである。

また回収率は80%、2割の人は無関心、というのには酷な言い方だろうか。ぜひ100%にしたいと思ひ、全国の会員にお願いするところである。

この結果は葉書により全

〇 書面審査
2021年(令和3年)の第27回定時総会は議決権行使書方式による書面審査で審議・承認を実施した。この方式は学員会本部をはじめ多くの年次支部も実施、当会も前年の総会はこの方式で実施している。5月28日に全会員に議案書を送付、その内容は①総会中止についての事情説明②事業報告・事業計画(案)③収



いつの日か 開く日はくる この扉
後楽園キャンパスの「白門」

「懇親会」は開かれませんでした。旅行会やゴルフコンペなどが開かれ、年齢を越えた元気な姿が見受けられたことは大変うれしく思つた。この間に近隣年次の支部活動のなかでヒントをいただいたことが2つありました。42年白門会様の「魅力づくり3条件」があり、白門44会様は「卒業50年会で44名が新規入会」であります。このことを聞けば私たちがもつとパワーを出し切つて良いのではないかと感じます。

コロナは流行の波を繰り返して、いずれ第六波が来る。専門家の話によればあと4〜5年はこの状態に我慢することになりそうです。日常生活に制限をつけるとしても年が明けての2022年新春の集い(2月10日)や7月の第28回定時総会(7月8日)が賑々しく開かれることを心から望んでおります。

白門43会の会員名簿の改訂版を22年に発行する予定です。会員名簿は前回発行の16年以來となりますが、その間新しい仲間が増え、住所の変更も多数発生し、改訂の必要が生じたものです。お送りした葉書に名簿

全国の白門43会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。2021年(令和3年)は新型コロナウイルス(COVID-19)の感染影響のため全世界の社会活動が停滞し、私たち白門43会の活動にも大きな影響を与え、前年の

白門43会会長 清水 正

初頭からほぼ2年間近く活動が停止しています。会の最大の目的である「懇親活動」をみても総会と新春の集いが計3回中止となり、その間皆様とお会いできない日々が長い間続いています。かつて私たちは「時代」



昭和三代と言つていま
昭和三代と言つていま
昭和三代と言つていま
昭和三代と言つていま

令和の3代
であり私たちが生まれ、育つた時代の年号も「昭和は遠くなり」にけり」と言われるようになってまいりました。会員の多くのか

喜寿といえは昔は「超高齢」の代名詞でしたが高寿命化時代の今は前と変わらぬ全く普通の感覚で生活しています。かつて中国で「SARS」が流行したのが2002年、ちょうど20年前のことでした。繰り返し訪れる感染症が身近に訪れており、その分、健康に留意して熟年を乗り越えてゆきたいと思つてお

白門43会の会員名簿の改訂版を22年に発行する予定です。会員名簿は前回発行の16年以來となりますが、その間新しい仲間が増え、住所の変更も多数発生し、改訂の必要が生じたものです。お送りした葉書に名簿

白門43会の会員名簿の改訂版を22年に発行する予定です。会員名簿は前回発行の16年以來となりますが、その間新しい仲間が増え、住所の変更も多数発生し、改訂の必要が生じたものです。お送りした葉書に名簿

藤間浩菊さんの日本舞踊をどうぞ
新春の集い

2022年の「新春の集い」は2022年(平成4年)2月10日(木)、東京の東天紅・上野店が開かれます。好評の出し物は藤間浩菊さんの日本舞踊です。浩菊さんは中央大学出身、祖母堂はSKD、母君は日活女優という芸能家系に育ち、日本舞踊、茶道を極めた方です。

南禅寺宗務本所役員を退任して

蓮沼良直



平成二十年に京都で行われたG7外相会議に出席されたドイツの外相シュタインマイヤー氏（現在、ドイツ連邦共和国大統領〔国家元首〕）が南禅寺に来訪されたので案内をしているところ



檀信徒研修会で坐禅 指導は筆者

平成十九年二月から教
学部長として赴任して、
同二十五年秋からは宗務
総長として本年三月三十
日をもって退任するまで
十四年間、京都生活を余
儀なくされました。

南禅寺は鎌倉時代の正
応四年（二九二）年に開
創されましたが、もとの
地は亀山上皇（第九〇代
天皇）の離宮で、此処でこ
生活をしておられ、四十
歳のとき出家されました。
以後は「法皇」とお呼び
します。

ところがこの離宮に毎夜
妖怪が出没し、お側にお
仕えする人々がそれに悩
まされました。法皇はこ
の事態の解決を当時の名
僧である無閑普門禪師（後
に醍醐天皇より大明国
師の名を賜った）に求めら
れました。

二十人のお弟子たちととも
に規則正しい生活をし、
坐禅・掃除・勤行などを
日課として暮らすうちに、
妖怪に悩まされていた人た
ちが徐々に元に戻っていき
ました。これを見た法皇
は禪師に「どうしてこのよ
うに回復したのですか」と
尋ねました。すると禪
師は「妖怪なんていうもの
は自分の心の中の迷いで
す。静かに坐禅して心を
見つめ正しい生活をしてい
くと心が調い、物事を正
しく捉えられるのです。そ
の生活態度が周囲にも及
び清々しい環境になったの
です。こういう環境の中に
妖怪など現れる筈があり
ません」と答えられました
。法皇はこの禪の教えで
正しい社会を作ろうと考
えられ、離宮を寺にして
禪師を開山第一世に迎えた
のが南禅寺です。正応四年
夏のことでした。

第二世の住持になったの
は規菴祖圓禪師（後に後
醍醐天皇より南院国師の
名を賜った）です。法皇は
この規菴禪師に就いて坐禅
修行に励まれました。し
かし坐禅堂で法皇が同じ
生活規則に従うことに、
側近の公卿や他の修行僧
は大いに戸惑いや遠慮を感
じていました。それを知っ
た法皇は「多くの川は海
に流れこぼせば全て同じ大海



中国江西省黄檗寺住職が来山されたので法堂で読経
中央で礼拝しているのは筆者

の水となる。そして川とし
ての元の名は自然になく
なっていく。私も出家して
仏の海に入ったからには他
の仏弟子と同じである」と
と御自身の信念を述べられ
ました。この意味の言葉は
經典の中にあるのですが法
皇はこの言葉を取り分かつ
て易く人々を諭されたので
す。このように法皇は規
菴禪師のもとで仏道修行
の姿勢を自覚され、御境
地が純熟していききました。

派の本山ですが、同じ宗
旨の本山は他に京都では
天龍寺・妙心寺・大徳寺・
相国寺・建仁寺・東福寺・
鎌倉に建長寺・円覚寺が
あり、そのほか浜松に方
廣寺、滋賀に永源寺、高
岡に国泰寺、三原に佛通
寺、塩山に向嶽寺があり
ます。また臨済宗と同じ
宗旨の黄檗宗萬福寺があ
り、この十五箇寺を中心
とした禅の教えは禅文化と
して、中世・近世および現
代にいたるまで日本文化に
大きな影響を与えてきま
した。この寺々の由緒はそ
れぞれ異なりますが、調
べてみると新しい発見があ
るのではないのでしょうか。

私は十四年間、京都で
過し、また身近に居たの
も関西以西出身の方ばか
りでしたが、中々京都言葉
に馴染めず、いつも関東弁
で過しました。中々順応
できないのです。広々と
した関東が恋しくさへあ
りました。万葉集に「武
蔵野は月の入るべき山もな
し草より出でて草にこそ
入れ」（詠み人知らず）と
いう歌があります。

果てしない武蔵国の原野
を、無限の可能性を秘め
た風景として感じることに
出来るので万葉集の中にも
私の好きな歌です。
私の寺は八王子の西端に
あつて自然に恵まれていま
すので、十四年間の疲れを
癒やすのに十分な環境で
す。現在他寺の歴史書
の執筆に取り組んでおり、
来年秋の上梓をめざして
頑張っています。

トシは一月前に生まれ
た若者で、最近ときどき
見かけるようになった。「さ
う、どうしたのか。」と
トシはこれまででの観察か
らまだケンジの影響を受け
ている様子はないか。し
かし彼だつていつ何ときライ
バルになるかもしれないし、
ケンジの味方になる恐れも
ないとはいえない。

蓮沼良直さんに感謝

清水 正

2012年秋の43会京
都旅行 臨済宗南禅寺派
の総本山である南禅寺を
詳しくご説明、方丈庭園
や諸堂、また近隣の永観
堂や哲学の道などをご案内
いただき、夜は京都国際ホ

テルでの懇親会にご参加
いただいた。翌日は紅葉が
美しい名所・嵐山をご案内
いただいた。

また43会創立20周年の
総会には講師としてご登
壇、人生は4サイクルエン

ジンと人生の流れとご自身
のステップアップを対比さ
れ、それぞれの世代での私
たちの責任についてを説
明くださいました。

43会報の第17号（08年
10月）には「禅寺・本山
の生活」ということで京都
南禅寺でのお仕事、本山
の歴史などくわしくご紹
介くださいました。

かがつて20年、八王子・興
慶寺をお訪ねし、会報に
ご紹介してから、お付き
合いが始まって20年になる
のだがそのうちの14年間
を京都で過ごされたわけ
で、多年にわたり同本山
の宗務総長という責任の
大いなお仕事に携われて
こられた。私たちにとつて
は「京都の蓮沼さん」と
いう印象が強いのではない

だろうか。

今は優しい「夕焼けの里」
にほど近い興慶寺で静かに
すごしておられる。

「興慶寺 このみ寺の鐘
の音を 今日も安らかに聞
くぞ嬉しき」この句を久々に
耳にした感想であった。なん
らかの機会にもういちど蓮
沼さんのお話をお聞きした
いなと思うこのごろである。

「どうだい」
「いやあ、こんな良い所が
あるなんて……。先輩のお
かげで十分ご馳走になりま
した」
「そうか、今日からオレたち
は仲間だからな」
本音では子分か弟分にし
たい気持だったが、この際は
敢えてそういう表現を避け
て同等の関係であるかのよ
うな「仲間」という言葉を
使った。
（次号に続く）

通用口（第三回）

会員・沢口みつを

やがてサブロウは、この
際頭を空っぽにすればいい
のだと気付いた。彼は考え
ることを止めた。そして角
の突き出た頭を右左に振
りながら「デンデンムシム
シカタツマリ オマエノアタ
マハドコニアル……」と歌い
だした。なかなか良いリズム
だ。声を出すことと身
体を動かすことはやはり良

いことだ。しばらくやっつい
ると身体が軽くなった。彼
は前に進む勇気が出た。
そうして再び例の通用口に
向かった。もちろん彼は警
戒を怠らなかつた。「メー
ルほど手前まで来たとき、
穴の近くに何か動くもの
があるのに気付いた。しば
らく様子を見てみると、そ
れはトシラだつた。

「どこへ行くんだい」
「どこか当てるがあるわけ
はないんですが、おいしい
栄養のある食べ物があると
ころはないかと」
「そうかい、オレは良い所
を知っているのだが……」
「本当ですか、ぜひ教えて
くれませんか」
「そうだな、これはそう簡単
にオイスレと教えられない
うものではないんだがな」
「そんな勿体ぶらないで教え
てくたさいよ」
「ならば教えてやってもいい
が、それには条件があるが、
守れるかな」
「もちろんです。何でも言
うとおりにします」
「そうか、じゃあ言うが……」
「それは絶対に秘密を守ること。
それからもう一つは単独
行動をしないこと、そへへ行
くときは必ずオレと一緒に
行くことだ。どうだ約
束できるか」
「はい、分かりました。必
ず約束は守ります」
しめしめうまくいったぞ。
計画どおりだ。頭は使い
うだつてことよ。

サブロウはトシラを弟分の
ように従えて例のゴミ箱と
建物との間の秘密の場所に赴
いた。そこで二匹は腹いっぱい
粉チーズを食べた。
「どうだい」
「いやあ、こんな良い所が
あるなんて……。先輩のお
かげで十分ご馳走になりま
した」
「そうか、今日からオレたち
は仲間だからな」
本音では子分か弟分にし
たい気持だったが、この際は
敢えてそういう表現を避け
て同等の関係であるかのよ
うな「仲間」という言葉を
使った。
（次号に続く）

白門43会ホームページ 最近のトピックス

8月30日	町田譽曾彦さんが参議院議長賞を受賞	矢崎 勝
9月 6日	随想 79 森	歌代 雄七
9月21日	ウクレレ教室 1	峯岸 修三
9月27日	四季の植物 クリ	龍門 海行
10月 4日	四季の植物 ヒガンバナ	劉門 海行
10月12日	役員会の議事録	役員会
10月12日	随想 80 初等算数	歌代 雄七
10月18日	ウクレレ教室 2	峯岸 修三
10月18日	歳時記 芙蓉	三沢 充男
10月25日	四季の植物 落花生	龍門 海行
11月 1日	随想 81 気分は如何	歌代 雄七
11月 1日	最近読んだ本 「二系民族説」で読み解く金印の謎	八東 一郎

白門43会のホームページが好評です。全面的にリニューアルして以来画像もふんだんに取り入れとても見やすいものになりました。ホームページ委員会メンバーの手で毎週1回は更新がなされ、閲覧回数もなんと5万7千件を数えるまでになりました。

白門43会の活動については「最近の活動」「スケジュール」などのコーナーで会としての動きをいち早く知ることが出来ます。また、「歳時記」や「四季の植物」などではすばらしいカラー写真が披露され、「会員だより」では会員の皆さまの投稿により、大変興味深い記事が多数掲載されています。パソコンやスマホなどで手軽に見ることが出来ますので

ぜひ活用ください。ホームページは会員の皆様が主人公です。身近な情報をどうぞお寄せください。近況報告、旅行、趣味、園芸、芸術、文芸などあらゆる分野のものが可能です。近日常に「ひとこと便り」のコーナーを設ける予定です。ここでは数行程度の短い記事で結構ですので、気軽に投稿してください。

ホームページは身近なスマホなどで見ることが出来ます。スマホの画面を大きく写したり、スマホを横画面に変えて見やすくすることも可能ですので、どうぞお気軽にご相談ください。また主として手書きで作業されている方にはそのまま投稿いただくことも可能です。

「リンク」により中央大学の状況、白門の他の支部のホームページを見ることが可能です。

①ご投稿、ご相談は hakumon43@gakuiikai.com

②白門43会ホームページを見るには
◇PC、スマホで「白門43会」を検索
↓「中央大学白門43会」をクリック
◇左のQRコードからも可

③最新の情報を見るには
◇TOP画面を
↓「トピックス」の項目をクリック
(最新の情報に更新されていないときは、パソコンの「F5」キーを押して下さい。)



こんなに楽しいホームページ 白門43会ホームページのご案内

活動報告

〈白門43会の動き〉

2021年2月 3日 (水) 役員会	中止
2月12日 (金) 新春の集い	中止
4月 7日 (水) 役員会	一ツ橋ビル (学生会本部) 紫紺館椿山荘
5月18日 (火) ゴルフコンペ	カメラアヒルズ C. C.
6月 2日 (水) 役員会	中止
7月 2日 (金) 総会・講演会・懇親会	中止
臨時役員会	一ツ橋ビル (学生会本部) ランチョン
8月 4日 (水) 役員会	中止
10月 6日 (水) 役員会	一ツ橋ビル (学生会本部) ランチョン
10月14日 (木) ホームページ委員会	豊島区高田・貸し会議室
12月 1日 (水) 役員会	一ツ橋ビル (学生会本部)

※「役員会」の内容はホームページで見ることが出来ます。
※「中止」は新型コロナウイルス感染症の感染から身を守るため開催を中止したものです。

白門43会役員

任期 2021年4月～2023年3月

会長	清水 正
副会長	浅葉美枝子
幹事	伊藤正敏
幹事	後澤正昭
幹事	小塚正人
幹事	清家春夫
幹事	田中宏司
幹事	富田秀雄
幹事	山本剛嗣
幹事	矢崎 勝
幹事	立岩正義
幹事	安藤 磐
幹事	歌代雄七
幹事	大谷隼夫
幹事	岡田孝子
幹事	金子典夫
幹事	倉田隆次
幹事	黒須 勲
幹事	古賀忠夫
幹事	佐藤 治
幹事	島田恭輔
幹事	清水利夫
副会長	鈴木征夫
副会長	高橋延芳
副会長	館野勝彦
副会長	中里圭井子
副会長	中村武照
副会長	中村喜子
副会長	長谷川裕子
副会長	原 健作
副会長	星野則昭
副会長	正野建樹
副会長	町田譽曾彦
副会長	三沢 充男
副会長	光常武二
副会長	緑川 勉
副会長	峯岸修三
副会長	宮本常子
副会長	森澤正瑞
副会長	山田雅道
副会長	吉田信男
副会長	龍門海行
副会長	石橋忠雄
副会長	井出勝正
副会長	伊藤 正
監査	小田治一 (山形県)
監査	金山正一 (宮城県)
監査	北村徹雄 (石川県)
監査	高田敏之 (広島県)
監査	高橋 努 (兵庫県)
監査	高橋良洋 (岡山県)
監査	龍山俊暁 (広島県)
監査	西村輝雄 (大阪府)
監査	坂東 勲 (富山県)
監査	平尾豊行 (広島県)
監査	長田康道
監査	芝木雅基

令和2年度 白門43会収支決算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(収入の部)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	909,858	909,858	0	
会費収入	464,000	957,000	493,000	(注) 1
総会懇親会収入	0	0	0	中止 (新型コロナウイルスの感染拡大)
「新春の集い」収入	630,000	0	-630,000	同上
会報発行収入	10,000	0	-10,000	広告掲載なし
その他の収入	120,000	107,505	-12,495	(注) 2
合計	2,133,858	1,974,363	-159,495	
(支出の部)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
総会費	95,000	129,283	34,283	印刷費、郵送費等の案内状関係費
「新春の集い」費	620,000	48,472	-571,528	印刷費、郵送費 (会報発送を含む) 等の案内状関係費
会報発行費	183,000	115,500	-67,500	印刷費130→116千円、発送費53→0千円
ホームページ費	40,000	37,400	-2,600	更新・メンテナンス費
その他の支出	125,000	59,623	-65,377	(注) 3
預り金	164,000	164,000	0	前年度受入年会費、「会費収入」へ繰入
次年度繰越金	906,858	1,420,085	513,227	(注) 4
合計	2,133,858	1,974,363	-159,495	

(注) 1. 会費収入 957,000円の内訳 令和元年度取納分 (預り金計上分) 37人、164千円及び今年度取納分139人、793千円
2. その他の収入 107,505円の内訳 支部活動支援補助金 100,000円、寄付金ほか 7,505円
3. その他の支出 59,623円の内訳 年会費督促費 20,640円、年次支部協議会費 15,000円、年会費免除 (未経過終身会費充当) 14,000円 事務用消耗品代ほか 9,983円
4. 次年度繰越金 1,420,085円の内訳 ゆうちょ銀行の振替受払 (払込金受払口座) 139,641円、定期貯金 300,000円及び普通貯金 548,527円 並びにみずほ銀行の普通預金 431,917円 ちなみに平成7年 (初年) 度末の「次年度繰越金」は、5,569,994円である。
(「白門43会会報」第2号)

<参考> 会員の状況→現会員 176人、自己都合退会会員 43人、死亡退会会員 3人 (令和3年3月31日現在)

令和3年度 白門43会収支予算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(収入の部)				
科目	予算額	摘要		
前年度繰越金	1,420,085			
会費収入	330,000	3千円/人×110人		
総会懇親会収入	0	中止 (新型コロナウイルスの感染拡大)		
「新春の集い」収入	630,000	参加費630千円 (9千円/人×70人)		
旅行参加費	0	コロナ禍により開催未定		
その他の収入	100,000	支部活動支援補助金 (前年度実績並み)		
合計	2,480,085			
(支出の部)				
科目	予算額	摘要		
総会費	52,000	「議決権行使書方式」(採決→委任状)に伴う経費		
「新春の集い」費	604,000	飲食費504千円、出演謝礼50千円及び案内状関係費ほか50千円		
旅行費	0	コロナ禍により開催未定		
会報発行費	120,000	前年度実績並み		
ホームページ費	38,000	前年度実績並み		
名簿作成費	100,000	終身会員制度廃止に伴う会員減少により、名簿作成の必要性あり		
その他の支出	60,000	前年度実績並み		
予備費	1,506,085			
合計	2,480,085			

町田譽曾彦さんが 「参議院議長賞」を受賞

新日本美術院展で

矢崎 勝

8月23日から30日まで東京都美術館で開催の第53回新日本美術院展(新院展)で、43会幹事の町田譽曾彦さんが「参議院議長賞」を受賞されました。

私は町田さんから案内の葉書をいただいたので8月24日の午前中に訪問しました。その日は町田さんが会場におられるとのことだったので、あいなりに私が行ったその時間には町田さんは不在でした。係の人にメモを渡しておいたところ、後で町田さんから連絡をいただいたので、いろいろお話を聞かせてもらいました。

受賞作品はフランスのストラスブールの風景を描いた油絵(下の写真)で、新院展への出品は今回が初めてだそうです。町田さんによれば、ストラスブールはドイツ語でシュトラスブルグといい、運河による水の都で、水を映す古風な風格をたたえた素晴らしい所です。1681年にルイ14世により占領されてフランス領になりましたが、現在は欧州議会の本会議所があります。この街には、ドイツとフランス両国の影響を受けた文化と建築が多く存在しており、いたる所に中世風の木造建築が多く見られ、1988年「世界文化遺産」に登録されました。町田さんはこの素敵な水の都へまた絵を描きに行きたいと言っていました。



ストラスブールの街



京橋の道路にならんだ鹽野さんの作品

会員の鈴木喜六さんの力作である書は戊辰戦争の時代、福島県会津における本来なら考えられない代官と農民の心あたたまる物語である。会津藩は只見の地区の代官として丹羽族(にわやから)を任命したがその任地で駐在の宿となったのが鈴木平六でありそのとき族は19歳の平六の2倍にあたる年齢であった。

族が平六の家にはいったのは1868年(慶応4年)、平六の家族がはじめ心配していたような厳しい待ではなく「柔和な言葉」を話す出合いであったことがこの物語の柱にもつながついていよう。時代背景はもちろんな人の描写、また土地の説明が細かくされて、この地で生活をされた鈴木喜六さんだからこそ書けた本である。

族は農民をよく理解した。そして平六は族を尊敬するようになった。書に述べられている族と平六の対話のなかにはなにげない言葉だが心をつたない場面がいくつもある。族が平六に「平六、それはお前が只見の山の素晴らしさに気がついていないのだ」として自然の美しさを優しく平六に説くのである。この自然の美しさは息子が族からももらった手紙の中にも「ここでは、山と空と川が人間たちを守っているように私には見える」とあらわれている。

戊辰戦争での西軍の攻略が進むにつれて只見の地区が食料難におちいつてしまった。戦での攻防や農民とのやりとりのなかで「米の大切さ」が述べられていることもこの本の大筋などところどころ。物語は藩主松平容



平六と族

幕末の奥会津只見村の会津藩代官は、なぜ自害しなければならなかったのか。河井継之助や農民達はその自害をどう受け止めたのか。

書評
「平六と族」
やから
鈴木喜六さん著 東京図書出版発行
ISBN 978-486641-419-5

保や長岡藩の河井継之助にも及ぶが、只見の人々が河井に思いをよせ続けていることも特記すべきことだろう。時がたつて族は兵糧総督としての責任が食料危機をまねいた、と考え自害するものである。農民の多くは動揺するのだが、直の部下は「覚悟のご自害であり、心が揺さぶられ

る」。と比較的冷静に受けとめている。自害のあたつては長い間「介錯」はなかったということになっているが、後日平六の手で行われたことが明かされたが、平六は族の名譽のためにこのことを他人に話すことはなかった。

地名や自然の表現が目にかぶようである。只見の町にも何度か足を運んだことがあるが、静かな、優しい町である。族の孫の七郎が今私の住む埼玉県の知事を務めたということも親しみを感ずいた読書感であった。(清水 正)

京橋の街角にギャラリー 鹽野さん第九回の個展開く

会員鹽野恵子さんの洋画の力作を集めた第九回個展が21年6月28日(月)7月4日(日)の間、東京・京橋のギャラリー・クボタで開かれ、多数の43会員が激励に訪れた。

個展ではこの時期のコロナ感染を予防するためにもビル1階の部屋に変え、思い切つて数点の作品をビルの外壁(道路向け)に掲示、思い切つた「解放感」の個展会場であった。中にいると道路(通称・骨董通り)から写真をとっている人々の姿が時折見られた。

鹽野さんは今年中大卒業の同期生であるご主人を亡くされ、悲しみのなかに追悼の気持ちをもって「雌ライオン・30M」をはじめ犬吠埼、霞ヶ浦、川奈などの地を題材にした38点の作品を展示したものである。ほぼ同時期に国立新美術館で開かれた、第35回記念 日洋展にも作品を出品、改めて強いパワーを感じさせたこの年であった。作品の仕上げ、会場設営の手

配、そして案内と超多忙であったことと推察する。「コラージュ」は鹽野さんの作品としては新しい技法であるがやはり新鮮な印象を受けるものであった。

- 梅田 法義さん 理工学部土木学科出身 相模原市南区在住 2021年3月逝去
- 佐賀山 進さん 理工学部土木学科出身 横濱市戸塚区在住 2021年7月逝去
- 梅津 久光さん 法学部法律学科出身 相模原市緑区在住 2021年8月逝去

「編集後記」

新型コロナウイルス禍のため活動が抑えられています。会合・集会などの行動が制限されるなかでホームページやこの会報が会員の皆様への大切な情報源となつていきます。

会合に参加できない皆様にお役にたてれば大変うれしいことです。年齢が上がるに伴って会報の文字が小さくて読みにくいという声が次第に聴かれるようになってまいりました。今号はやや大きな文字にしてみましたがいかがでしょうか。充分とは言えないかもしれませんが編集の事情お察しのうえお許しください。